

家計が第一

立憲民主党の生活応援策はこちら

税負担を減らす

- ガソリン・軽油価格の引き下げ 1兆4,999億円

教育費の負担を減らす

- 学校給食無償化 4,900億円
- 高校無償化の拡充 3,709億円

収入アップ

- 介護・障害福祉従事者処遇改善 4,225億円
- 訪問介護事業者緊急支援 357億円
- 保育士・幼稚園教員処遇改善 1,488億円

働く人等を支援する

- 「130万円のガケ」対策 7,800億円
- 中小企業の社会保険料負担軽減 257億円
- 高額療養費の自己負担上限の引き上げの凍結 200億円

約3.8兆円



立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088



立憲民主党は「家計が第一」

ムダな予算を 生活応援へ



物価高が家計を直撃し国民の生活がこんなに大変な時に「ムダな予算なんてありえない!!」
立憲民主党は、皆さんの生活応援に充てる財源を確保しました。

党内「本気の歳出改革」作業チーム

国会議員70人規模で予算のムダの洗い出し

国会の予算委員会「省庁別審査」で精査

野党の提案で「省庁別審査」
(各省庁別に予算の詳細をチェックする場)を採用

Point 1

概算要求(昨年9月)では5,000億円だった一般予備費が、
政府予算では1兆円に倍増

なぜ3カ月で倍増・・・

5,000億円が1兆円になったんでしょうか。根拠薄弱です。



本庄知史
議員

Point 2

基金残高636億円、
2年以上経過するも実際の支出は2,400万円のみ

緊要性がもとめられる補正予算で積み増したが、
2,470万円しか使っていないんですね。必要あるんですか？

Point 3

基金残高800億円のうち、契約済みは1億円のみにもかかわらず、
政府予算で400億円を上積み



川内博史
議員

今年400億積む必要なんか全然ないんです。

Point 4

1年間に必要な額705億円をはるかに上回る1,800億円を基金に投入



岡本充功
議員

1,800億円もの基金を積んでいるのは過剰であり・・・、
(ワクチンの)出荷が800万本に至らない程度であれば、
1,000億円返せるんじゃないですか？

<衆・予算委員会質疑>

予算・基金の見直しで約3.8兆円を確保して、
家計が第一の物価高対策へ活用！